



神宮次秀樹 議員(政友みらい)

ふるさと納税について



Q 令和3年度における佐野市のふるさと納税の寄附額は、令和2年度に比べ10倍以上の伸びであり、令和4年度がさらに期待される。令和4年度予算は約5億3,000万円計上され、返礼品の充実などが計画されているが、令和4年度の事業内容について伺いたい。

A 市長

令和4年度においては、寄附額のさらなる向上及び本市の魅力を全国の方に知っていただくことを目指し、ポータルサイトの増設を検討するとともに、返礼品の増加に向けた事業者への働きかけなど継続して取り組んでいきたいと考えています。

ふるさと納税制度の取組を強化することにより、選ばれる佐野市づくりを進め、税外収入の確保や本市経済の活性化を図っていく考えです。

その他の質問

☆あそ野学園義務教育学校周辺の市有地の活用について



菅原 達 議員(公明党議員会)

避難所への非常用電源の導入について



Q 日常的に人工呼吸器などの医療的ケアが必要な方が災害で避難を余儀なくされた際、指定避難所での医療的ケアの継続が非常用電源の確保の面からも十分でないことは指摘されている。

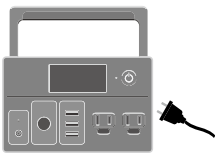
個別計画の中であらかじめ非常用電源の必要な方を掌握し、その方が避難する福祉避難所を指定避難所と定め、そこに非常用電源を確保させる。その上でそこに直接避難する体制をつくることで、医療的ケアが必要な方への安定的な非常用電源の確保につながるものと考えているかがか。

A 行政経営部長

効果的な対策であると認識しています。今後個別計画策定の際には、医療的ケアが必要な方に福祉避難所への直接避難に対する意向聴取を行うなど体制基盤の整備を図りたいと考えています。

その他の質問

☆公共施設へのWi-Fi環境の整備について  
☆放課後児童健全育成事業の適正化と質の確保について  
☆オンライン学習のあり方について



滝田 洋子 議員(日本共産党議員団)

市における女性職員の活躍について



Q 市民の方からの要望で、女性副市長の登用というものがあつた。大事な市政を話し合うときに、その場所に女性がない、少ないということがあり、ジェンダー平等と言われている今、これからの佐野市をよくしていくために、副市長に女性を公募で選び、新鮮な風を入れるということを提案するが、どのように考えるか。

A 市長

副市長は、市長を補佐しながら政策及び企画を推進し、職員の担任する事務を監督する役割を担っています。当面現体制での市政運営を考えていますが、今後の登用に当たっては、女性、男性という視点に捉われず、副市長にふさわしい人材を登用していきます。

その他の質問

☆公園等設備について  
☆電車通勤・通学の利便性向上について  
☆中学校の部活動について

